

JA くれだより



耕そう、大地と地域の未来。



あなたとJAを結ぶ広報誌

2018

第63号

September



特集

JA呉の自己改革

特集

モリモリごはんスクール

CONTENTS

- JA呉からのお知らせ ● 2
- 特集** JA呉の自己改革 ● 3
- 特集** モリモリごはんスクール ● 4
- 平成30年7月豪雨災害 ● 6
 - 被災地に笑顔の花咲く
 - 災害対策本部設置
- レディのチカラ。 ● 7
 - 防災意識持って 防災プレスレットづくり
 - イベントで活躍
 - 季節感じて 折り紙「ウサギ」
- 農業専科 ● 8
- 家庭菜園 ● 9
 - 大根
- レシピ ● 10
 - なすとささみの炒め物
- 読者だより ● 11
 - クロスワードパズル
- 選果場の紹介 ● 12
 - JAくれ選果場・江能選果場



今月の表紙

「食」を支える
「農業」を知る

「食」を支える知識・体験を含んだ食農教育では、食育活動に加えて、農業や地域、自然との関わりにも注目しています。私たちの食を支える農業活動を知り、体験して頂くことで、これらが担う様々な価値を学んで頂いています。

呉市広生まれの伝統野菜である広甘藍。今回は呉市立昭和南小学校の5年生、48人に750本の苗の植え付けを体験していただきました。

児童たちは生産者組合の方からの説明を熱心に聞き、一人15本〜16本の苗を植え付け

その後、用意された液肥を慎重に与え、最後にみんなが協力して大きな防虫ネットで覆っていきましました。実際に畑に入り、本物の土に触れ、体験することで、実感してもらったことが出来たようです。児童たちは、収穫から販売まで自分たちで行う予定です。

このような体験を通して子どもたちが農家の大変さを知り、感謝の気持ちを忘れず好き嫌いなく野菜をたくさん食べてくれたらいいなと思います。

※下記相談日は変更になる場合がございますので、事前にお問い合わせください。

JA呉からのお知らせ

「JAファーマーズ・マーケット
プレゼントキャンペーン」について

地元の農家の採れたて農産物を販売する、JAファーマーズマーケット（直売所）でプレゼントキャンペーンが始まりました。スタンプを溜めてカーブ関連企画にご応募ください。

期 間：平成30年9月1日（土）～11月22日（木）
 応募締切：平成30年11月22日（木）
 実施会場：JA呉本店 グリーンセンターを含む県内直売所
 ※JA呉管内、対象店舗はグリーンセンターのみ
 実施内容：500円お買い上げごとにスタンプ1つ押印
 ※詳しくはJAまで。



編集室より

朝晩涼しくなり、夏の疲れが出る頃になりました。畑の作業も忙しくなりますが体調にはお気をつけてください。
 秋に向けJA呉もイベントが盛りだくさんです。お楽しみに♪⑩

JA呉は、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に自己改革を進めています。JA呉の特産品が有利販売出来るよう関係機関と連携をとり、ブランド化の推進を行っています。

◆JA呉のひのひかり（主な産地：昭和・郷原地区）

主に昭和・郷原地区で生産されているひのひかり(米)の生産拡大と所得増大に貢献する為、平成27年にJA呉ブランド米として誕生しました。



◆いしじみかん（主な産地：倉橋町・蒲刈町）

いしじとは、呉市倉橋町が発祥の温州みかんの品種で、呉を代表するみかんのひとつです。他のみかんと比べ甘みがあり、PB商品である「こだわりいしじ」は年末の贈答品として高い評価を受けています。



◆江田島きゅうり（主な産地：江田島町）

温暖な気候と日当たりの良さに恵まれる江田島地区は県内最大のきゅうり産地です。4月～7月、10月～1月にかけて出荷されています。歯ごたえが良いのが特徴です。



◆お宝とまと（主な産地：倉橋町）

倉橋地区で生産されているトマトで、お宝ブランドシリーズのひとつ。ベテランと若手の生産者が切磋琢磨し、「こだわり抜いた紅(あか)の旨み」を売りとして、糖酸のバランスも良く、完熟した状態で出荷されます。12月～7月まで出荷され、市内のスーパーなどで購入できます。



モリモリごはんスクール

元気モリモリ!!

子どもたちに食の大切さを理解して広めてもらおうと『ごはん大使』に任命しています。今年、7月31日に仁方小学校、8月7日に白岳小学校で開催しました。



きゅうりとささみの炒め物



8月7日
火曜日

白岳小学校

親子14組 32人参加



野菜いっぱいミネストローネ



広東支店の久保田支店長をはじめ、渉外担当者も参加し、一緒に調理しました。子どもたちは、「家でも作ってみたい」「自分で作って食べると、いつもよりおいしい」と元気いっぱいの笑顔でした。



バランスよく食べて

J A呉では食農教育の一環として、親子料理教室「モリモリごはんスクール」を開催しています。食事のバランスや、食べたものがどのようにして栄養になるかを学び、



7月31日^火

仁方小学校

親子5組 12人参加



抹茶牛乳ゼリー



最優秀
レシピ賞



ひろしまオールスター★担々丼

平成30年度ひろしま給食100万食プロジェクト最優秀レシピ賞受賞

レシピは、「平成30年度ひろしま給食100万食プロジェクト」最優秀レシピ賞を受賞した、白岳小学校2年生考案の「ひろしまオールスター★担々丼」をメインに、「きゅうりとささみの炒め物」「野菜いっぱいミネストローネ」「抹茶牛乳ゼリー」の4品。

平成30年7月豪雨災害

被害を受けられた皆さまには謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

被災地に笑顔の花咲く

子どもおたすけ隊／天応支店

天応支店の2階会議室は、子どもたちのにぎやかな声が響いています。西日本豪雨で大きな被害を受けた呉市天応地区で、被災者を対象とした無料託児所が開かれ、毎日のように子どもたちが集まっています。

7月下旬、天応地区で被災した人たちが自宅を片付ける際に、「子どもを預けることができたら助かる」という要望に応え、保育士の資格を持つ山本さなえさんが知人に声をかけ、JA施設を利用して始めました。

保育士や看護師の資格を持つ有志で行う無料託児活動は、「子どもおたすけ隊」と名付けられ、スタッフは13人。



託児所スタッフから「ちゃぐりん」を受け取る小学生

平日9時30分から16時まで1日10組前後の親子が訪れます。夏休みには、小さな子どもだけでなく、小学生も来るようになり、ボランティアの力も借りて、映画会、演奏会だけでなく、学習会なども開かれました。

8月21日には、一般社団法人家の光協会から被災者の方へとJA呉に贈られた、「ちゃぐりん」「家の光」、紙芝居

居セットが「子どもおたすけ隊」に届けられました。

山本さんは、「何とかしなければ」という思いから始めました。最初は子どもさんを預かるだけでしたが、今では、お母さんともお話しができる時間も持てるようになりました。地域の復興にお役に立てれば嬉しい」と優しく微笑んでいました。

災害対策本部設置

JA呉本店

この度の7月豪雨災害に際し、JA呉本店に「平成30年7月豪雨災害対策本部」を立ち上げ、災害復旧に力をつくす呉市消防局、江田島市消防署をはじめ被災した自治会などに水、スポーツドリンク、タオル、ポリタンク等を提供しました。また、か

ねてより災害時の協定をむすんでいる江田島

江田島市明岳周作市長と林久光江田島市議会議長が来組され、御礼を述べられ今後について話し合いを持たれました。



市では緊急時の物資等の集積場所として江能選果場を提供しました。

被災状況

(JA呉管内)8月末現在

被災状況の調査を実施したところ、JA呉管内においては家屋572件と首農被害は、152園地で被害総額は3億4300万円との報告を受けました。

※事故発生時は、まず警察へお届けを忘れずをお願いします。



JA呉女性部 防災意識持って 防災ブレスレットづくり

JA呉女性部広西支部・広南支部・波多見支部は、『家の光』7月号掲載「やさしいハンドメイド」の防災ブレスレットを作りました。

ブレスレットの紐は、とても丈夫な「アウトドアコード」で、すぐにほどくことができ、長さは3メートル。ホイッスルが付いた留め具で、万が一のときに助けを呼ぶことができます。

女性部員は、「簡単に作れて楽しい。」「カラフ

ルでかわいい。」「いざと言うときに役に立ちそう。」と真剣なまなざしで作っていました。

波多見



広南



完成！笑顔でパチリ。

広西



みんな夢中でブレスレットを作っています。



三高

季節感じて 折り紙「ウサギ」

三高支部は、中秋の名月を楽しもうと8月の終わりに折り紙で「ウサギ」を作りました。

お互い教え合いながら、色とりどりのかわいらしい「ウサギ」を折りました。



思い思いのウサギができあがりました。

高田

イベントで活躍

7月に開かれた、「高田支店大売出し」。女性部の高田支部は、手作りの炊き込みご飯とコロケを販売しました。

部員たちが朝早くから作った商品は、店頭で並ぶと飛ぶように売れて、あっという間に完売するほど大人気でした。



大人気！炊き込みご飯とコロケ



大量の炊き込みご飯を詰める女性部員



ほとんどの落葉果樹は収穫を終え、落葉時期に入っている頃です。かんきつについては、年末に向けて収穫最盛期を迎えます。

落葉果樹

■カキの脱渋

渋柿については渋抜き作業が必要です。

アルコール法

段ボール箱の中にビニール袋を広げて入れ、さらに下部には新聞紙を数枚敷きます。ヘタ部に35度ほどの焼酎をつけ、ヘタどうしをくつつけながらビニール袋に入れます。上部も数枚新聞紙を重ね袋のくちをしぼります。20℃ぐらいの室温であれば5日程度で完了です。

■キウイの追熟

キウイフルーツは追熟して美味しくなる果実です。家庭で追熟する場合は、リンゴやバナナと一緒にビニール袋に入れて常温で置いておきます。1週間程度で食べごろになるでしょう。

■落葉果樹の基礎防除

落葉後の休眠期には病害虫の基礎防除を行います。多くの病害虫に対して効果があります。

うめ (12～1月)、
すもも・もも (2月下旬)、
いちじく (3月中下旬)

かき (3月下旬)、
ぶどう (3月下旬)
石灰硫黄合剤 7～10倍

※いずれも萌芽期より前に行う。
散布液が自動車・壁の塗装面、墓石などにかかるに変色のおそれがあるため注意する。
また、耕種防除としてカキ、ブドウなどでは樹皮を削り取り、樹皮下の害虫を防除する。

■落葉果樹のせん定

せん定の目的は、作業性の改善、受光環境の改善、樹勢の維持、病害虫への対処といったことがあげられます。特に樹高が高くなった場合は切り下げを行い作業しやすくする必要があります。

せん定を行う際は、樹全体を眺め、ある程度見当をつけると作業しやすくなります。主枝V亜主枝V側枝の順に枝の太さがそろっていくようにします。主枝の先端は外向きになるようにし、樹内部へ向かう枝や、平行枝はせん除を行います。できるだけ、枝に沿ってせん除し、切り残しがないようにしましよ。

幼木を生育している場合は、樹形を整える必要がありますが、その場合は枝などの誘引を行った後にせん定をすると良いでしょう。誘引をする前にせん定を行うと樹形が思うようにいかないことがあります。

■イチジフ

今年発生した枝の節から、来春に新芽が出てそこに着果します。今年枝の基部5節程度の枝を1m当り2本残しせん定します。節は枯れ込やすいので節と節の間で切るようにしましょう。



せん定前



せん定後

■ブルーベリー

今年発生した枝の先端5芽程度に花を着けます。そのため、先端部のせん定は避け、地際からの邪魔な枝、内向枝を中心にせん除します。

■カキ

今年、着果していない枝の先端部4芽程度から発生する枝に来年実をつけます。そのため、先端部ばかりを切るようなせん定を行うと、成る

はずの実が成りません。太枝の先端部は切り返しせん定を行い、混みあう部分は軽い間引きせん定を行います。

■キウイフルーツ

果実が成った後からは発芽せず、それよりも先の芽から発芽し果実が着きます。よって、今年の着果部より先の2～3芽を残してせん定します。その後は枝の配置を整えましょう。

■土作り

完熟たい肥（果樹用豊穰堆肥・こだわり健肥など）を園へ投入します。投入後は、鍬などで軽く中耕し土壌中にも空気を入れるようにしましょう。なお、ブルーベリーには石灰系資材を投入しないでください（最適pHが異なるため）。

かんきつ

かんきつは収穫シーズンに入ります。収穫は丁寧に扱い、出荷ロスの無いようにしましよ。フィガロン乳剤を使用した園地では、樹勢回復が必要です。腐敗防止剤や冬マシンの散布時には尿素を混用して散布してください。



JA広島果実連
清水 峻平

(JA呉江田島地区駐在)

収穫した果実を長持ちさせる一番のコツは、やさしく丁寧に扱うことです。

家庭菜園



大根の栽培方法

大根は、日本各地に根付いた地方品種が多く存在し品種数は世界でも多いといわれます。

原産地はコーカサス、地中海東部、中央アジアにまたがる地域のどちらかの諸説があり定まっていません。

品種選びのポイントは、「作る季節に応じて品種を選ぶ」こと。トウ立ちにくい春どり用、暑さに強い夏どり用、秋から冬にかけて収穫できる秋どり用と、これらの品種をうまく選んで作りましょう。家庭菜園では栽培しやすい秋どり用がおすすめです。

部位によって辛味や甘味が違うため「煮中・漬け尻・生かしら（辛い下の部分は漬物、甘い上部は生でサラダ、真ん中はおでん等の煮物）」のように幅広い用途で使い分調理ができる野菜です。

発芽温度：15～30℃
生育温度：20℃前後

土づくり

「ダイコン十耕」といわれるくらい土づくりと深耕が重要となってきます。十分な耕土（50cm以上）が確保され、排水性・保水性がともに優れた土作りが必要です。よって堆肥などをしっかりと深耕するのももちろん、元肥は冬季では14～20日前には施用し、十分土になじませるように耕してください。

露地栽培の場合

1㎡あたりおおよそ堆肥3kg、苦土石灰100g、化成肥料100～150gを施します。畝幅60cm、高さ約10～15cm、株間25～30cmで播種を行ってください。

プランターの場合

60cm以上の大型で深耕タイプのプランターで栽培します。また底に鉢底石等を入れ、水はけを良くします。プランター栽培の時は根が小さく育つミニ種がオススメです。プランターの8～9分目くらいまで土を入れてそこに化成肥料を約20gを加えます。プランター・露地栽培のどちらも植付約2週間前には土づくりを済ませておきましょう。

栽培

種から育てる

大根は畑に直接蒔きます。蒔き方は空き缶などでくぼみをつけて蒔き穴に4～5粒程度蒔く「点まき」にして間隔を広げると、後々の間引きが楽になります。「筋まき」にす

るときは条間を10～15cm、深さ5～10mmのまき溝をつけて5mm～1cmの間隔で種を蒔きます。また、ばら撒きもできますが、苗の間引くときや施肥の管理に手間がかかるのであまりおすすめはできません。蒔いたのち1cm程度を目安にし覆土してください。

水やり

種を蒔いた後は発芽するまで乾燥に注意して水やりをしてください。

発芽後は用土が乾いた日中や朝に水やりをします。大根は多湿を好まないの夕方以降の多量の水やりは控えましょう。

【注意】天候や気温が不安定な時は、生育不良や病気が発生しやすいくなります。葉色や病気の有無など生育のチェックは欠かせず行いましょう。

追肥

追肥は生育の様子を見ながら3回目の間引きの終わるころに1㎡あたり約20g程度を目安に施用し、追肥後株元に土寄せと軽く中耕しましょう。追肥遅れは葉の出来具合や裂根につながりやすいので注意してください。

プランターの場合も同様に生育の様子を見ながら2～3回目の間引きの後1株当たり約3～5gを与えましょう。

間引き

間引き1回目は子葉（二葉）のこ

るに綺麗なハート型のものを残します。

間引き2回目は本葉2～3枚の時、間引き3回目は本葉5～6枚の時、生育の良いものを選び1本立ちにします。

収穫

収穫のタイミング

収穫時期の目安は土から首の部分が出て、その首の太さが6～7cmになった頃です。

収穫が遅れると「ス入り」となってしまう恐れがあるので、収穫のタイミングには注意が必要です。

収穫方法は育ちのよいものから首元を掴んで引き抜くようにしましょう。

注意する病害虫

春植え大根にはコナガ、アオムシ、アブラムシが発生しやすいからので早期発見、早期除去を心掛けてください。

根部分に悪さをするキスジノミハムシの幼虫などは粒剤を土壌に散布し耕しましょう。

成虫が見えた場合は粒剤の効果が出にくい場合もあるので散布剤などの利用も検討してください。



宮農販売課 宮農指導員
横山 明子

大根は冬定番の人気野菜です。しっかりと耕しておいしい大根を育ててください。



いためもの
なすとささみの炒め物



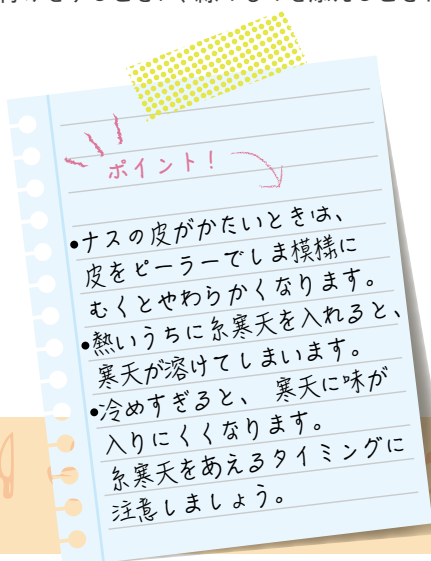
(レシピ提供：管理栄養士 石田洋子)

材料(4人分)

なす	2本	糸寒天	4g	
鶏ささみ	1本	ごま油	大さじ1/2	
A	しょうゆ	小さじ1	しょうゆ	大さじ1
	酒	小さじ1	オイスターソース	大さじ1
	片栗粉	小さじ1		

作り方

- ①なすは、乱切りにする。
 - ②ささみは筋をとり一口大に切りAの調味料をからめる。糸寒天は、水に20分くらいつける。
 - ③ごま油を熱し、①と②のささみを炒める。しょうゆ、オイスターソースで調味する。
 - ④火をとめて、あら熱がとれたら糸寒天をあえる。
- ◎盛り付けをするときに、緑のものを添えるときれいです。



合併15周年記念 ふれあいのJA呉まつり



JA呉まつり 江田島会場

平成30年11月10日・11日

《時間》両日とも 9:00～16:00

《場所》JA呉江能選果場

江田島市大柿町飛渡瀬60番地の1

JA呉まつり 呉会場

平成30年11月17日・18日

《時間》両日とも 9:00～16:00

《場所》呉市体育館

呉市中央4丁目1番1号



※両会場ともに駐車場の台数に限りがありますので、当日は、専用送迎バスでご来場ください。(最寄りの支店・ふれあい店でお尋ねください。)

第8回 JA呉 少年サッカースタフェスティバル開催

平成30年11月23日(金) (勤労感謝の日)

場所 呉市総合スポーツセンター(呉市郷原町)



JA呉は、呉市・江田島市の子どもの明るい笑顔と元気な体づくりを応援します。皆さまのご声援をよろしくお願いいたします。



読者だより



くれただよりを毎号楽しみに拝読して
います。今月は、移動購買車「ふれあ
いGO」の特集がありました。倉
橋の店がない地域にも来てくださり、
母が大変お世話になっていきます。

(呉市倉橋町・女性)

移動購買車の運行ありがたく思いま
す。が、独り暮らしに使いやすいま
ささや少量の物を販売して下されば
助かります。

(呉市下蒲刈町下島・男性)

◆現在、移動購買車「ふれあいGO
」は2台となり倉橋地区と蒲刈・
下蒲刈地区を走り多くの皆様にご
利用いただいております。今後と
も、ご愛顧のほどよろしくお願い
いたします。

グリーンカーテンの朝顔が毎日咲い
ています。カレンダーに花の絵をか
いて楽しんでいきます。はるか昔の絵
日記と空の青さを想い出しています。
あのころは、30度を越す日は夏休
みに2〜3日の様な気がします。

(呉市広長浜・女性)

◆お便りを拝見し、なつかしい想いに
心の中にひとすじの風が通り抜け
ました。

合併15周年。。。あれからもう15年も
過ぎたのかと思ひながら拝読。農業
専科を読むのが楽しみです。カキの
葉25枚が1個の量の必要量というの
が驚きでした。今年はその点に留意
して見守ることにします。できるだ
け摘果をしてみます。

(呉市板原町・男性)

◆「農業専科」は、人気コーナーのひ
とつです。

管内で栽培できる果樹や土作りな
ど一年を通じての作業を掲載して
おります。今後とも参考ください。



7月の集中豪雨では、自宅の被害は
ありませんでしたが、国道・道路とJ
Rが土砂被害で寸断され、会社への
通勤やレジャーなどに影響が出てい
ます。1日も早い復旧を願っていま
す。合併15周年特集での記事ですが、
こんな事もあったんだなあと、色々
と15年間を思い出しました。

(呉市広町・男性)

◆7月の西日本集中豪雨は、JA呉
管内に限らず、県内各地で被害を
受けました。遅々とした感があり
ますが、復旧作業が続けられてい
ます。皆様が笑顔で過ごせる日が
1日も早く来ますこと、心からお
祈り申しあげます。

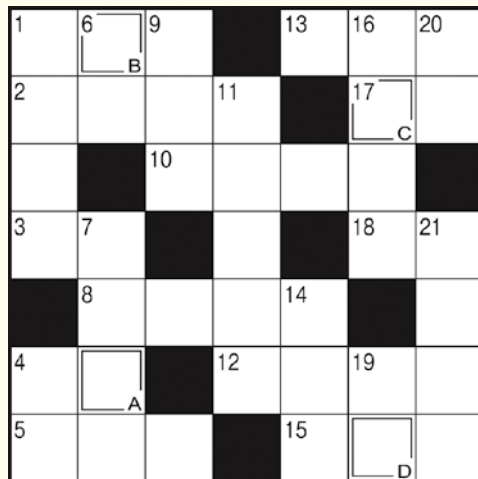
クロスワードパズル

二重マスの文字をA~Dの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

出題/ニコリ

タテのカギ

- 電流を流したり切ったりする装置
- 深谷、下仁田、九条といえ
- 膝より下、くるぶしより上
- 野山を耕して田畑にすること
- 鉄棒や跳び箱を使って行う——体操
- 木を育てたり切り出したり加工し
たりする仕事
- 体の90%以上が水分だという、水
にすむ生き物
- 年下の女きょうだい
- 田楽にしてもおいしい紫色の実野菜
- あ、おいしそう。ひと——ちょうだい！
- カイコの繭から作ります



ヨコのカギ

- 十五夜に飾る植物
- 米の収穫作業の一つ
- エレベーターの表示では「B」
- よく飼われているペットなんだニャ
- 石原裕次郎と牧村句子のデュエット曲「——の恋の物語」
- 足りて礼節を知る
- 和風の携帯菜入れ。黄門様のドラ
マでおなじみです
- 恋愛運や金運などを見てもらいます
- カラオケ店で離さない人もいます
- 招く人がホストなら、招かれる人は
- 月の模様はウサギがこれをつけて
いるように見えるとか
- 佐渡島に保護センターがある鳥

プレゼント

クイズの答えと住所、氏名、年齢、電話番号、そして身近な話題、ご意見・ご感想をお書き添えのうえ、以下の宛先までご応募ください。正解者の中から抽選で5名にプレゼントいたします。



JA三次
こだわり四季
ゆずぽん酢しょうゆ
(500ml)

三次特産「種なしゆず」を
ベースに四万十川源流で熟
成した醸造醤油に土佐のカ
ツオエキスをおいしくブレ
ンドしたぽん酢醤油です。

ハガキで応募

〒737-0811
呉市西中央1丁目
2番25号
JA 呉 経済部
ふれあい課 行

FAXで応募

(0823)22-9513

応募締切

平成30年10月31日(水)消印有効

当選者発表

当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえ
させていただきます。

【個人情報取扱について】お寄せいただいた個人情報は、当ク
イズ以外の目的には使用いたしません。

前号のこたえ



ナツマツリ

選果場の紹介

J A呉管内に2カ所ある選果場は果実を取扱う事業所として活躍しています。「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を最大の目的とし、生産者の皆様が丹精込めて育てた果実を選果・選別して商品に仕上げ、出荷・販売をしています。園地は風光明媚で温暖な瀬戸内海国立公園内にあり、太陽と海からの光をいっぱい浴びて育った果実はとても糖度が高くおいしくなります。また、生産者はおいしくて、安全な果実生産に日々邁進しています。光センサー選果機により選果場には年間を通じて、新鮮でおいしい果物があります。贈答用もございますので、最寄りのJA窓口にて是非お問い合わせください。



左より 秋光技術員、藤井、今田場長、岡本



JAくれ選果場
呉市蒲刈町田戸1034
☎0823-66-1157



JAくれ選果場

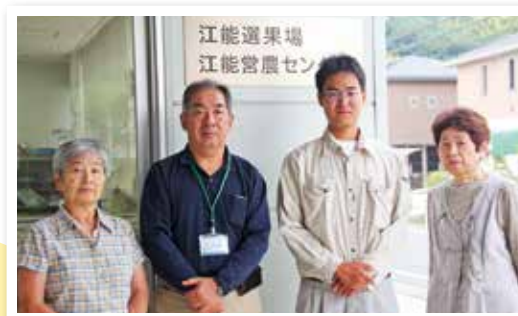
JAくれ選果場は、呉市の沖合に位置する下蒲刈島、上蒲刈島、倉橋島で生産された果実を取扱う選果場です。常緑果樹のかんきつ類は10月～5月、落葉果樹では6月～7月はスモモ、8月～10月はイチジク、11月にはキウイフルーツがあります。

江能選果場

江能選果場は、江田島で生産されたかんきつを中心に多彩な果実の収集荷を担う選果場として古くから稼働しています。常緑果樹のかんきつ類は10月～5月で、5月からはブルーベリー、8月～10月はイチジクがあり、「江田島夢みかん」「島の味果ちゃん」など、ブランド商品もあります。



江能選果場
江田島市大柿町飛渡瀬60-1
☎0823-57-3344



左より 浜口、梶川場長、清水技術員、上本

